

企画総務グループ打合せ（平成 29 年度 第 4 回）議事録

日時：平成 30 年 2 月 5 日（月）10:00～12:30

場所：JGS 会館 3F 小会議室

出席者：峯岸，福原，石川，永尾，林，川原井，齊藤，渡邊，青木（事務局）

1. 前回議事録の確認

- ・平成 29 年度第 3 回企画総務グループ幹事会議事録（H29.11.24）
- ・平成 29 年度第 3 回運営委員会議事録（H29.12.22）
一>前回の議事録は，確認の上，承認された。

2. 最近のスケジュール

- ・平成 29 年度第 4 回運営委員会：平成 30 年 2 月 13 日
- ・平成 29 年度第 2 回評議員会：平成 30 年 2 月 26 日（特別講演会も開催）
特別講演会：「赤色立体地図の原理と応用-様々なスケールの地形から何を読み取れるか-」
講師 千葉 達朗 氏（アジア航測）
- ・平成 30 年度関東支部通常総会：平成 30 年 4 月 27 日（特別講演会も開催）
特別講演会：「東京都市の 3 次元地盤モデルに基づく伏在活断層の推定」
講師 木村 克己 氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所）
一>日程を確認した。また，第 2 回評議員会後の特別講演会の申込数に余裕があるため，参加者数を増やすように声掛け活動を行うこととした。

3. 支部長特命事項対応他，運営管理上の報告・協議

- (1) 平成 29 年度「地盤工学功労章」候補者の推薦依頼（提出済）
一>内容を確認した。
- (2) 平成 29 年度名誉会員推挙候補者の推薦依頼（提出済）
一>メール審議にて候補者推薦を行ったが，推薦がなかったことを確認した。
- (3) 平成 29 年度特別会員の表彰について（通知）
一>関東支部では 17 団体が表彰されることを確認した。
一>PC フレーム協会は，今年度末で退会予定であるが表彰されること理由に慰留願を行うこととした。
- (4) 平成 29 年度永年にわたる正会員への感謝状贈呈について（通知）
一>喜内氏は本年度，功労賞候補者であるため，事務局確認を行うことを確認した。
- (5) 地盤工学会関東支部選出代議員について（厳重注意）
一>内容を確認した。

(6) 現預金の通常の残高について

- 一>支部で保有する現金および預金の平均額は、700万円～1,000万円で推移している。
- 一>現金および預金で普段の事業に支障がない額は、200万円前後は必要であり、10月・11月・3月の繁忙期は500万円程度が必要である

(7) 各支部出版物についての確認

- 一>販売目的の書籍は、①「新・関東の地盤（2014年版）」、②「法律家・消費者のための住宅地盤Q&A」である。
- 一>①は本部公益出版部に3カ月に1回程度、売上と販売数、在庫を伺っている。②は出版元の民事法研究会に売り上げが入り、印税収入のみ関東支部に入る契約を結んでいる。

(8) (本部総務部) 支部会計規程等の設置に関する検討依頼

- 一>内容を確認して頂き、支部規程に関して意見がある場合は、2月9日(金)正午までにメールにて報告することとした。
- 一>新しい会計規程では、支部が管理できる現預金は100万円/月を基本としている。このため、従来は半年に一度予算管理を行っていたが、行事毎に精算管理する必要が生じる。
- 一>出納責任者は、支部幹事長の他に支部長が指名する若干名を関東支部案として提案している。
- 一>入出金の承認管理は、電子承認を基本に考えていることが報告された。
- 一>公印使用は、使用状況を一覧表として作成し、一覧表をチェックする。

(9) 平成30年度支部「事業計画案(まえぶん、本文)・正味財産増減予算案」ご提出についてのお願い

- 一>内容を確認して頂き、修正事項がある場合は2月9日(金)正午までにメールにて報告することとした。

(10) 平成30年度予算

- 一>内容を確認した。予算(案)では、170万円の赤字であり、支出の削減以上に、収益を確保する行事を起案する必要があることが確認された。

(11) 平成30年度名簿案(支部監事・評議員)

- 一>石井支部監事の後任として、高橋章浩先生(東工大)に打診することとし、内諾を得た。
- 一>若手評議員の選出は、学会行事に積極的に参加される方を中心に候補者を選定する必要があることを確認した。

(12) 関東支部若手意見交換会開催企画案

- 一>佐藤氏(アサノ大成基礎エンジニアリング)の提案内容を確認した。
- 一>平成30年度に実施できるように運営体制の構築を図ることとした。

(13) 1/12 開催「顧問会報告」

- 一>若手セミナーなどにシニアの先生方をお招きしてコメントをいただくような企画があると良いとの意見が合った.
- 一>70周年記念事業の一つに「地盤工学に携わる女性」のネーミングを募集する企画が提案されたことが報告された. これに対し、「女性」にこだわらず「地盤工学に携わるエンジニア」を身近に捉えられるネーミング募集の方が良いとの意見があった.
- 一>「女性」だけにこだわらず「男性」があっても良いことや、ネーミングを選考する方法は、女性技術者の視線が重要であり、選考委員の選定は慎重に行う必要があることが指摘された.

(14) 70周年記念事業実行委員会（本部）報告

- 一>実行委員会は開催されていないが支部で実施を予定している企画案のアンケートがあり、関東支部からは、定例の行事（Geo-kanto、ソイルストラクチャーコンテスト）と若手セミナーに70周年の冠を付けて行うことと、「地盤に係わる女性のネーミング募集」を提案した.

(15) 国際会議開催について

- 一>IS-Tokyoの開催状況、TC・ATC委員会および議長、委員のリストを整備した.
- 一>国際会議を関東支部で誘致開催するためには、実行委員会の旗揚げが必要であることを確認した.

(16) 関東支部賞

- 一>内容が確認された.

(17) 自治体（都・県）との災害協定の締結に向けた文面の作成

- 一>東北支部で各県と締結した協定書を元に文面を作成し、内容修正がある場合はメール報告となった.

(18) 会員データベース更新のためのアンケートの実施に向けた前分、フォーム内容の調整

- 一>会員サービスの向上 を 学会活動の向上 に変更することとした.

(19) 新設研究委員会公募（公募期間の変更）

- 一>支部長特命事項として新規研究委員会の募集は随時行うこととし、委員会の立ち上げ半期ごととすることが可能であるか研究委員会Gに提案することとした.

(20) ニュースレター41号

- 一>編集担当の齊藤先生に体裁等の最終チェックを行っていただくことを確認した.

(21) H29年度予算執行状況について（12月末現在）

- 一>内容を確認した.

4. 開催結果、進捗状況の報告

- (1) 1/23 群馬県G「上信自動車道〔地盤改良工事〕見学会 参加者43名【開催済】

- (2) 1/31 共催行事：埼玉県 G「平成 29 年度 技術講演会」 参加者 118 名【開催済】
- (3) 2/7 千葉県・企画総務 G「千葉市液状化対策事業」見学会
- (4) 2/7 後援行事「環境防災セミナー2018」

→内容を確認した.

5. その他

(1) 退会届

- ・三菱ケミカルインフラテック（株）（2018 年 3 月末退会予定）
→組織変更に伴う見直しのため
- ・(株) 国際技術コンサルタンツ（2018 年 2 月末退会予定）
→不要と判断されたため
- ・中央大学理工学部都市環境学科（2018 年 3 月末退会予定）
→齋藤邦夫教授の定年退職のため

→特別会員を継続して頂くように顧問より依頼することが事務局より説明された.

(2) 新入会

- ・(株) 大林組 土木部（4 級）11 月入会
- ・一般社団法人構造調査コンサルティング協会（4 級）11 月入会

- (3) 次回打合せ：平成 30 年 6 月を予定とし、後日日程調整を行うこととした.